



春田事務次官の合図で「打ち水始め！」



33.0℃から30.5℃になりました。作戦成功！！



「下水再生水」の準備をする東京都下水道局の皆さん



打ち水に使用する水は、芝浦水再生センターで生まれ変わった「下水再生水」



去る8月1日昼休みに、中央合同庁舎第3号館前において、今年で5回目となる「国土交通省打ち水大作戦2008」が開催されました。

## 「国土交通省 打ち水大作戦 2008」を開催

土地・水資源局 水資源部水資源政策課

打ち水は、庭先や道路に水を撒くことで地表の温度を下げて、夏の暑さを和らげる日本人の生活の知恵で、近年、都市部におけるヒートアイランド現象が問題となっていることから、打ち水による効果が見直されてきています。

国土交通省でも、環境行動計画（平成16年6月策定）で打ち水の実施をうたい、取組みを続けてきているところです。

開始前の会場の気温は33・0℃。今年も東京都下水道局のご厚意により提供いただいた「下水再生水」400ℓと「風呂の残り湯」60ℓの計460ℓの水が用意され、春田事務次官の「打ち水始め！」の号令により、総勢100名を超える参加者が一斉に打ち水を開始しました。

隙間なく水が撒かれたところで、温度計に目を移すと気温は30・5℃。わずか10分少々で2・5℃の気温を下げる事ができました。

今年も大成功に終わった打ち水大作戦。皆様も是非ご家庭で、ご近所で、「打ち水」を行ってみてはいかがでしょうか。きつとクーラーにはない「涼」を感じることができると思います。